

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
成人援助論Ⅱ	1 単位 (30 時間)	千脇 洋子(認定看護師) 小林 亮 (病院看護師) 町田 千晴 (認定看護師) 岩城 知美 (病院看護師)	3 年後期

【学習目標】

慢性疾患の病態を踏まえ、病とともに生活する対象が直面する困難を受け入れ、対応していく過程の看護を理解する。また、長期にわたり様々な治療方法を行っている対象のセルフケア能力の拡大、QOLを高める看護について理解する。

【授業の進め方】

講義、グループワーク、演習
血液透析室見学

【授業スケジュール】

- 1 主な内分泌、代謝疾患の特徴、検査、診断など看護ケアを行うための基礎知識を確認
- 2 慢性疾患患者の特徴（身体面、社会面、心理面）をふまえ経過別看護について
- 3 治療の目的、教育的アプローチ、アセスメント方法を学ぶ
患者疑似体験としての自身の生活習慣の振り返りと生活指導の視点
- 4 演習：血糖測定、インスリン自己注射の手技体験、高齢者、身体障害、視力障害体験
- 5 演習：糖尿病合併症と予防 足病変：フットケア、フットアセスメントとケア方法
- 6 症例検討（小児期、妊娠期）
- 7 症例検討（成人期、壮年期、老年期）
- 8 呼吸器に対する患者の看護（咳嗽、喀痰、呼吸困難のある患者の看護）
- 9 治療・処置を受ける患者の看護（吸入療法、酸素療法）
- 10 〃（胸腔ドレナージ）
- 11 疾患をもつ患者の看護（肺炎、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、肺癌）
- 12 腎臓系疾患患者の看護
- 13 見学学習：血液透析（血液浄化療法）の実際を理解する
- 14 血液透析を受ける患者の看護
- 15 試験

【教科書】

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学
[6]内分泌・代謝 [2]呼吸器 [8]腎・泌尿器 医学書院

【参考書】

【評価方法】

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
成人援助論Ⅲ	1 単位 (30 時間)	猪瀬 康行 (認定看護師) 山岸 明広 (認定看護師) 北島加奈子 (認定看護師) 山岸 大祐 (病院看護師) 樋口 尚宏 (認定看護師)	3 年後期

【学習目標】

外科的療法による侵襲のメカニズム、周手術期の患者の看護を理解する。また、循環機能障害をもつ成人およびその家族への看護を理解する。

【授業の進め方】

講義、グループワーク

【授業スケジュール】

- 1 手術患者のリスク (生活習慣、小児、高齢者)
- 2 周術期における呼吸器ケア
- 3 周術期における認知症患者のケア
- 4 手術患者のリスク (心臓、肺)
- 5 手術患者のリスク (脳、腎臓、糖尿病・内分泌)
- 6 術後のバイタルサイン・周術期における検査異常
- 7 術後の疼痛・術後の感染・ドレナージとチューブの管理
- 8 グループワーク
- 9 グループワーク
- 10 発表
- 11 循環器患者の特徴と看護の役割
- 12 虚血性心疾患の看護
- 13 心不全の看護
- 14 不整脈・不整脈の看護
- 15 試験

【教科書】

系統看護学講座別巻 臨床外科看護総論 医学書院
 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔3〕循環器 医学書院

【参考書】

【評価方法】

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
成人看護方法Ⅱ	1 単位 (15 時間)	町田 久美 (臨床経験 5 年)	3 年全期

【学習目標】

成人期にある対象のセルフケア能力拡大（再獲得）に向けた看護実践について理解し、その看護方法を身につける。

【授業の進め方】

講義、演習、グループワーク、レポート発表

【授業スケジュール】

- 1 自己管理に向けた健康教育・指導のあり方
自己効力、エンパワーメント、ストレスコーピング理論の活用
- 2 演習 自己管理支援のロールプレイ
- 3 演習振り返り
- 4 社会的支援の獲得への援助
- 5 グループワーク 慢性疾患をもつ成人への看護について
- 6 グループ発表 慢性疾患をもつ成人への看護について
- 7・8 「セルフケア・自己管理支援の看護」についてレポート発表

【教科書】

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論 医学書院
その他、学習内容関連の教科書

【参考書】

学習内容関連書

【評価方法】

出席状況：出席時間と参加態度（20%）・演習評価（30%）・レポート（50%）

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
老年看護方法Ⅱ	1 単位 (15 時間)	松沢 土子 (臨床経験 26 年)	3 年全期

【学習目標】

- 1 健康障害を抱える高齢者を理解するための方法を学び、実践できる技術を身につける。
- 2 高齢者への看護体験やこれまでの学習を踏まえ、生活の質を高める看護、あるいは、残された機能を生かした看護方法について考察する。また、学生間で学びを共有し老年看護のあり方について考えを深める。

【授業の進め方】

講義、演習、グループワーク、レポート発表

【授業スケジュール】

- 1 高齢者の特徴、看護に必要なアセスメントの項目と方法
- 2 健康逸脱時の高齢者看護ケア
- 3・4 演習 高齢者に多い看護技術(褥瘡ケア・移動介助)
- 5・6 グループワーク 病棟と地域の連携における看護の役割
高齢者に特有な健康ニーズと、生活の質を考えた看護について
実習体験・学習からの学び
- 7・8 「老年看護観」についてレポートにまとめ発表

【教科書】

系統看護学講座 老年看護学 医学書院
看護技術ベーシック 医学芸術社

【参考書】

随時必要資料を提示する

【評価方法】

出席状況：出席時間と参加態度（20％）・演習技術評価（30％）・レポート（50％）

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
小児援助論Ⅱ	1 単位 (30 時間)	和田 光子(臨床経験 12 年) 佐藤 理紗 (臨床経験 7 年)	3 年後期

【学習目標】

小児の主要疾患に応じた看護について理解できる。
事例展開を通して小児看護過程展開について理解できる。

【授業の進め方】

小児に多い主要疾患について病態生理から症状別看護まで、小児臨床看護の経験を活かし、大切にしてほしい小児看護の視点を実体験を交えながら話す。
事例展開は実在の症例を用いた看護過程の展開をグループ討議を取り入れながら行う。

【授業スケジュール】

主要疾患 看護

- 1 ①先天性心疾患 (ファロー四徴症)
- 2 " (心室中隔欠損症)
- 3 ②骨疾患 (骨肉腫)
- 4 ③腎疾患 (急性糸球体腎炎)
- 5 ④血液疾患 (急性リンパ性白血病)
- 6 ⑤脳脊髄疾患 髄膜炎・二分脊椎 (脊髄髄膜瘤)

事例をつかった小児看護過程の展開

- 7 観察項目
- 8 事例紹介・情報収集 (観察項目)
- 9 アセスメント
- 10 "
- 11 "
- 12 問題リスト
- 13 看護問題・目標
- 14 看護計画
- 15 試験

【教科書】

系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院

【参考書】

発達段階からみた小児看護過程＋病態関連図 第3版 医学書院
こどもの病気の地図帳 講談社

【評価方法】

筆記試験(50%)、看護過程展開課題(50%)、授業態度の総合評価

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
母性援助論Ⅱ	1 単位 (30 時間)	柳澤 佑佳 (助産師) 青木 結愛 (助産師) 深井 未菜 (助産師)	3 年前期

【学習目標】

産褥期における正常から逸脱、移乗を判断するための基礎知識を学び、ハイリスク状態にある対象に適した看護を理解する

【授業の進め方】

講義

【授業スケジュール】

- 1 ハイリスク妊娠と看護
- 2 妊娠期の感染症 合併症
- 3 子宮外妊娠
- 4 多胎妊娠 妊娠糖尿病 妊娠高血圧症候群など
- 5 分娩の異常と看護
- 6 産道・娩出力の異常、胎児の異常による分娩障害、胎児機能不全、分娩時の損傷
- 7 分娩第3期および分娩直後の異常、分娩時の異常出血、産科処置と産科手術
- 8 事例を使った母性看護展開
- 9 産褥期の異常と看護
- 10 子宮復古不全
- 11 産後うつ など
- 12 事例を使った母性看護展開
- 13 事例を使った母性看護展開
- 14 事例を使った母性看護展開
- 15 試験

【教科書】

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 医学書院

【参考書】

なし

【評価方法】

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
精神援助論Ⅱ	1 単位 (30 時間)	熊谷 照美 (病院看護師) 大蔵 真理 (病院看護師)	3 年全期

【学習目標】

各精神疾患の知識に基づく症状アセスメントを理解し、生活を整える視点で対象と家族の看護を学ぶ。

【授業の進め方】

講義

【授業スケジュール】

- 1・2 精神科看護 (回復を助ける、身体をケアする)
- 3・4 DVD鑑賞「閉鎖病棟」 精神科看護 (統合失調症：急性期回復期)
- 5・6 精神科看護 (統合失調症：慢性期 うつ病) 事例検討 (統合失調症、うつ病)
- 7 DVD鑑賞「ツレがうつになりました」
- 8・9 安全を守る、アルコール依存症の看護、接触障害・強迫性障害
サイバーをしての看護とそのケア
- 10 パーソナリティー障害 DVD鑑賞「16歳のカルテ」
- 11 地域における精神看護と地域精神保健活動
- 12 バードゲーム療法
- 13 事例展開：摂食障害
- 14 発表
- 15 試験

【教科書】

系統看護学講座 専門分野 精神看護の基礎 医学書院
 系統看護学講座 専門分野 精神看護の展開 医学書院

【参考書】

なし

【評価方法】

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
精神看護方法	1 単位 (30 時間)	ペタス 裕子 (臨床経験 16 年)	3 年全期

【学習目標】

- 1 精神看護の視点や看護に必要な技術を理解し、対象への対応方法を考えることができる。
- 2 病院と地域における精神看護の役割を理解する。

【授業の進め方】

講義、個人ワーク、グループワーク、レポート発表

【授業スケジュール】

- 1 精神看護技術 (コミュニケーション)
- 2 安全管理と特殊性
- 3・4 健康的側面を捉える視点
- 5・6 アセスメントの考え方と観察の留意点
- 7 自己洞察の必要性
- 8・9 グループワーク 再構成と再構成のカンファレンス
- 10・11・12 個人ワーク 社会資源、復帰施設の役割
- 13 グループワーク 復帰をめざす対象の支援
(病院・地域における看護について)
- 14・15 「精神看護が病院・地域で担う役割について」のレポート発表

【教科書】

学習内容関連の教科書

【参考書】

学習内容関連書

【評価方法】

出席状況：出席時間と参加態度 (30%) ・レポート (70%)